



POWER

Vol.
64

SPRING 2020

季刊誌パワー

発行所：公益社団法人 全国鉄筋工事業協会 〒101-0046 千代田区神田多町2丁目9番6号田中ビル4階
TEL 03-5577-5959 FAX 03-3252-9170 〔令和2年3月23日発行〕



趣 意

労務委員会

「技術研鑽のための
マッチング支援システム」

現在、全鉄筋では、「技術研鑽のためのマッチング支援システム」の構築に取り組んでいます。鉄筋にはあまりなじみがない、聞きなれない単語が並んでいます。皆さんにご理解いただきたいと思います。

開発に着手

以上の経緯で、「技術研鑽のためのマツチング支援システム」は構築されていますが、利用には全鉄筋の会員であることが条件となっています。

そのため、2次以降の協力業者の方にも、全鉄筋に加入していただく必要があります。

入会に際しては、現状の正会員と同じ条件となり、同じメリットを受けられます。

特定技能の受け入れ、情報の共有、基幹技能者受講機会の拡大などです。

また、全鉄筋に加入することにより、職業に対する自覚、誇りを持ち、所得の向上、品質の向上、安全管理、なども期待されます。

ご理解の上、加入、利用促進にご協力をお願いいたします。

組合紹介

新潟県鉄筋業協同組合

お米と農業のイメージが強い「新潟県」

縦に長く海岸線は635kmあります。県境には山が連なり海と山に囲まれた地形です。

そのおかげで、「春夏秋冬」季節ごとに、春には山菜、秋にはきのこ、新米、海では季節ごとの魚介類。県内には温泉も多く海側・山側と景観も楽しめます。縦長である当県は上越地区・中越地区・下越地区の3地区に分かれ、上越地区では「上杉謙信」「スキー発祥の地」などによるイベント。中越地区では「長岡大花火大会」が有名です。下越地区では村上市の「鮭の食文化」が有名です。

他には、近年多く書籍が出ている「田中角栄」元総理の生誕地で記念館が柏崎市西山町にあって多くの方が来られます。漫画文化に關してですが、全国各地に漫画や漫画家に由来した場所・記念館などあります。新潟県出身の有名な方では「高橋留美子」「水島新司」「しげの秀一」など多くの方がおられます。新潟市には「漫画アニメ情報館」がありますのでマンガ好きの方には興味あるかと思ひます。さて、新潟県の組合ですが、7支部・40社、組合3役・理事がまとまり、各支部との連携で情報共有や問題解決に取り組んでいます。

当県でも人手不足や後継者不足などの問題がありますが、組合企業全社をあげ環境の改善「人材確保と育成」を目指し、労働条件の見直し、高校生への出前実演など若い人に知って貰い、働き甲斐と将来が安心できる業界づくりに邁進しています。

先に書きました越後、新潟の上中下越それぞれの四季（春夏秋冬）、（海・山）、味わいに立ち寄つてみてください。

追伸 新潟には下越地区に分類されますが、「金山」と「朱鷺」で有名な佐渡島もあります。お待ちしています。

全鉄筋の主な年間行事

■ 2020年5月19日（火）14:30～	第1回理事会（前年度報告承認）	リーガロイヤルホテル大阪
■ 2020年6月5日（金）14:00～	社員総会（前年度報告承認、次年度計画承認） ※役員改選期ではありませんので、理事会は開催いたしません。	TKPガーデンシティ品川
■ 2020年7月3日（金）14:00～	事務局会議（事業計画周知、事務局連携）	TKPガーデンシティ仙台駅北
■ 2020年10月30日（金）14:30～	秋季定例会（事業推進状況報告） ※第2回理事会（職務執行状況報告）を13:30から同会場にて開催いたします。	リーガロイヤルホテル大阪
■ 2020年11月13日（金）13:00～	青年部全国連絡会議	東京第一ホテル錦（名古屋市）
■ 2021年3月16日（火）14:30～	第3回理事会（次年度計画承認、職務執行状況報告） 《又、必要な場合は臨時理事会を開催いたします。》	TKPガーデンシティ浜松町

※新型コロナウイルス感染状況により変更する場合があります。

2020年度 登録鉄筋基幹技能者講習 開催地

■認定講習

	開催地	開催日	定員	開催会場
107	福岡	2020/4/3～2020/4/5	99	久留米リサーチパーク
108	東京	2020/4/24～2020/4/26	60	練馬産業会館
109	石川	2020/5/29～2020/5/31	36	石川県地場産業センター
110	香川	2020/7/10～2020/7/12	50	サンメッセ香川
111	東京	2020/9/18～2020/9/20	100	台東区民会館
112	神奈川	2020/10/31～2020/11/2	70	神奈川県建設会館
113	大阪	2020/11/21～2020/11/23	100	エルおおさか
114	静岡	2020/12/10～2020/12/13	100	富士教育訓練センター
115	北海道	2021/2/18～2021/2/20	60	北海道職業能力開発支援センター

http://www.zentekkin.or.jp/
又はQRコードでアクセス



■更新講習

	開催地	開催日	定員	開催会場
108	香川	2020/4/12	100	サンメッセ香川
109	愛知	2020/6/7	74	アイプラザ一宮
110	東京	2020/8/30	100	台東区民会館
111	東京	2020/9/13	100	台東区民会館
112	大阪	2020/9/19	100	エルおおさか
113	東京	2020/9/27	90	東京セミナー学院池袋校
114	新潟	2020/11/1	50	新潟テルサ
115	静岡	2021/2/14	100	富士教育訓練センター
116	北海道	2021/2/21	60	北海道職業能力開発支援センター
117	大阪	2021/3/6	50	建団連会館
118	岩手	2021/3/21	70	岩手県産業文化センター

※新型コロナウイルス感染状況により変更する場合があります。

夏の働き方アンケート

2019年全鉄筋秋季定例会において、「全ての工事現場において、7月から9月の全ての土日を休工する」という決議が行われました。関東鉄筋連青年部ではその決議を受け、具体的な取り組み方も含め、業界内でしっかりとした議論を進めていくためにも、現状の夏の働き方の把握が必要だという認識になりました。

夏の過酷な環境下において、「作業効率がどの程度低下するのか?」「休憩時間をどれ位取っているのか?」「作業時間は通常に比べどうなのか?」など、アンケートの回答を集計し、現状を把握することで、データに基づいた生産性低下の実態や夏工程・夏単価の必要性の有無、これを通じ夏期の週休2日実現に結び付けたいと考えました。

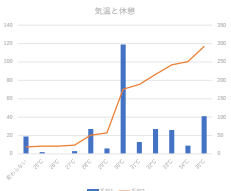
アンケート調査にご協力いただいたのは、関東鉄筋連青年部（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東鉄協、鉄工協、神奈川）の加盟社のうち、232社中166社で延べ

300名で、アンケートは2019年5月～2019年6月の1ヵ月間で実施されました。その際、回答していただいた方の構成は、経験10年以上92.1%、経験20年以上64.5%でした。

アンケート結果のまとめとして、最高気温25℃の夏日は通常の94.5%の歩掛（歩掛▲5.5%）、気温30℃の真夏日は通常の84・35%の歩掛（歩掛▲15・65%）、最高気温35℃を超える猛暑日は通常の70・75%の歩掛（歩掛▲29・25%）となることがわかりました。

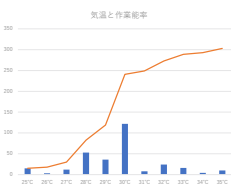
これから、近年のように猛暑日の多い夏場には、3割近く効率が落ちるとともに、暑さによる疲労の蓄積で、職人さんたちが休業にいたることを鑑みると、夏期の間の週休二日が推奨されると共に、夏工程（工程の延伸）と夏単価の検討が必要であることがわかりました。関東鉄筋連青年部では、前回よりも母数を増やしアンケート調査を実施することで、精度の良いデータを構築すべく、活動を継続しています。

気温と休憩の関係



- ・28℃を超えると休憩回数や休憩時間を増やし始める
- ・30℃を超えると53.7%が休憩回数や休憩時間を増やしている
- ・33℃を超えると76.3%が休憩回数や休憩時間を増やして
- ・35℃を超えると93.4%が休憩回数や休憩時間を増やして

気温と作業能率 作業能率が落ち始める気温



- ・28℃では27.4%
- ・30℃では79.5%
- ・32℃では90%

気温と作業能率

- ・就業時間×水分補給にかかる欠損率×作業能率

- ・最高気温25℃(夏日)
・7h00min×0.9425×1.00=6h36min(94.25%)
- ・最高気温30℃(真夏日)
・(7h00min-7min)×0.8875×0.9665=5h54min(84.35%)
- ・最高気温35℃(酷暑日)
・(7h00min-17min)×0.836×0.882=4h57min(70.75%)

まとめ

- ・夏日(最高気温25℃)は通常の94.5%の仕事になる(5.5%歩掛が下がる)
- ・真夏日(最高気温30℃)は通常の84.35%の仕事になる(15.65%歩掛が下がる)
- ・酷暑日(最高気温35℃)は通常の70.75%の仕事になる(29.25%歩掛が下がる)
- ・暑さ疲労の蓄積により休業にいたることを鑑みると夏期の間は週休二日が推奨される

各地区広報活動報告

北海道鉄筋業協同組合

北海道建設産業ふれあい展事業報告について

日時：令和2年2月11日(土)12日(日)

場所：札幌駅地下歩行空間 北3条広場

指導者：北海道鉄筋業協同組合 青年部12名

北海道建設産業ふれあい展では、建設産業の役割や重要性を発信し、イメージアップを図り、将来の技能者・職人の確保・育成につなげる事を目的としています。

各世代のより多くの方々に建設産業の「みて・つくって・体験して」を身近に感じてもらうことをコンセプトとして事業を行っています。

今年で5回目の出展となりますが、今回は左官、とび、鉄筋の3団体合同開催を実施。

鉄筋は、建物の構造を紹介するモニュメントを設置し、工具を用いて結束線を結ぶ体験や鉄筋の曲げ・切断体験、重さ比べ体験、鉄筋製ブランコ試乗などコーナーを設置しています。

来場者からは鉄筋工事業とは何かと質問される事が多く、技能士指導による仕事の説明や体験を通じて、作業に戸惑いながらも達成感に喜んでいる姿が見られ、来場者からは鉄筋の大切さや大変さが知れた、普段見ない作業に触れられて良かった等、鉄筋工事業の仕事に興味を持っていただけました。

また、2日間通して全体で約21,000人と昨年の数を大幅に上回り、鉄筋ブースでは1,417人と多くの来場者で賑わい、あまり知られていない鉄筋工事業のPR活動ができました。

今後、人口の減少が続くと想定されている中でも未来を担う子供たちがものづくりに触れられる場を創出し、鉄筋工事業に関心を持っていただきたいです。

これからも建設業界の発展に繋げられるよう取り組んでいきます。



佐賀県鉄筋工事業協同組合

”ものづくりマイスター”による出前講座

2020.1.17~18 若年技能者人材育成等支援事業



毎年、”ものづくりマイスター”の資格を有する会員が講師を務め産業技術学院や高等学校での出前講座を開催しています。

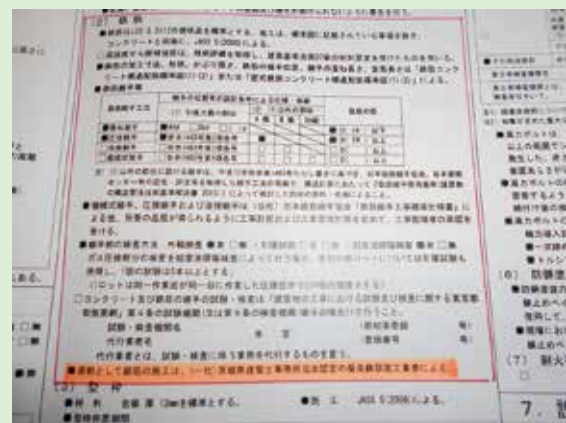
主に、建築科・土木科2年の生徒に技能検定試験の課題を基にした講義や実技指導を行ない、『ザ・職人鉄筋工』の魅力をPRしています!!

2019.12.1~2020.2.26 県立工業高等学校等派遣事業



茨城県鉄筋業協同組合

平成18年9月、茨城県鉄筋業協同組合は広く県民に「健全な建築構造物」の提供が出来る様、鉄筋施工業者は「品質及び技術の向上」「業界の健全な発展」の活動を目的とし「茨城県優良鉄筋施工業者認定制度」を一般社団法人茨城県建築士事務所協会の協力を得て発足した。本制度は当組合に所属する組合員及びその他の鉄筋施工業者における鉄筋工事の品質向上をはかる事を第一に、鉄筋施工を行う申請業者の施工管理体制の構築と信頼性の維持・向上に努め、安心・安全な構造物の提供に寄与することを目的として認定制度が制定された。第1回目の申請において20社を認定し、平成19年5月の通常総会に於いて認定書を授与した。その後、3年毎の新規申請及び更新申請を行い、平成31年4月現在、16社が認定され優良鉄筋施工業者として活躍している。活動内容としては、新規・更新時期の認定審査委員による書類審査及び現地調査。定期的な一般社団法人茨城県建築士事務所協会との鉄筋施工監理に関する講習会を開催。また構造設計標準仕様書内の鉄筋工事欄に優良鉄筋施工業者による施工と明記をするなど、この制度の発展と建設業界への更なる普及・浸透のため日々、積極的に取り組んでいる。



トピックス



ではどのようにこの状況を打開しようと考えたとき、一番の問題はコミュニケーションにも応えるためにも、今後は自

を抱き、非常に怖かった事を覚えています。

分のスキルや知識を高めるとともに、後輩や今後入社する実習生にも指導やサポートを行い、後輩たちが会社の戦力となるように育てられるよう頑張りたいと思います！

最後に、今日の僕があるのは会社の応援やサポートがあつてこそなので、大変ありがたかったです。

会社でできて本心に良かったです。いろいろなところがございまして。これからもよろしくお願いします。

この先も異国で家族と離れ離れで生活するのは決して楽な事ではないと思いますしまだまだ不安もありますが、自分のために会社のために、これからも他のベトナム人の実習生や会社の皆さんと力を合わせてがんばります！



飛田鉄筋工業(株)
DANG HOAI SON

受賞者インタビュー

(国土交通省土地・建設産業局長賞)

2019年度 優秀外国人建設就労者表彰 受賞決まる

私は2015年に技能実習生として来日し、現在は建設就労者として埼玉県に工場があります飛田鉄筋工業でお世話になっております。

来日してからあつという間に4年がたち現在来日5年目となりましたが、日本にきた当初何が一番大変だったと聞かれたら、すぐに答えられるのはやはり僕も他の実習生の皆さんと同じで言葉が通じないことでした。先輩に言われた色々な事が分からなくて困っていた私は、自分がどうすればいいのか、どんな工夫が必要なのかなど色々考えてしまうことで、未来への不安を抱き、非常に怖かった事を覚えています。

毎朝先輩たちと明るく挨拶する事を心がけて片言でも頑張つて会話をしたり、仕事の中に皆さんから教えて貰ったことはしっかりとメモをとり、仕事が終わつてからは部屋で日本語の教科書を開いて勉強しています。そのように日本語をどんどん覚えていったことで、仕事の中のコミュニケーションがとれるようになり仕事も早く慣れることが出来ましたし、日本語を喋ることはいつしか私の楽しみの一つになりました。2018年に三年間の実習が終わつてからも、自分はまだまだ勉強不足だと感じたことや、ささいな力か

かもしれないがもっと会社に貢献したいと思ったので、再来日する事を決意しました。

現在、会社に在籍するベトナム人のリーダーという役職を与えて頂きました。会社の期待もありました。これからよろしくお願いします。

最後に、今日の僕があるのは会社の応援やサポートがあつてこそなので、大変ありがたかったです。

会社でできて本心に良かったです。いろいろなところがございまして。これからもよろしくお願いします。

この先も異国で家族と離れ離れで生活するのは決して楽な事ではないと思いますしまだまだ不安もありますが、自分のために会社のために、これからも他のベトナム人の実習生や会社の皆さんと力を合わせてがんばります！

「コスト競争力について独り言」

広報委員会委員長 知念 辰昇

鉄筋工事は建物全体工事費の中で材工であっても5%程しか占めないにもかかわらず、ゼネコンは自らの受注競争のため、我々に対してコストを下げることを強要し、下げるためにはどうすれば良いか自分で考えるよう求めて来る。当然、生産性向上のため

の策は常々それぞれの会社や業界全体でも考えている。

労務費比率が高い業種以外に目を向けて欲しいと嘆願すると、物件全体を考えていると返ってくる。例えば専門工事業者の知恵を振り絞って受注に至ったとしても、請負金額からゼネコン経費はたんまり確保し、残りを実行予算として専門工事業者に競争させて発注する。そして近年のゼネコン高収益を生み出している。また、一部の専門工事業者は言いなりに競争し、不本意を承知で安値受注するため同業者間で不仲になっている現実がある。せっかく業界で社会保険加入を推進したのに、支払いできずに社会保険を辞めかねない事態を招くのか！

これら実態を国土交通省、日建連、全建に把握していただきたく、全鉄筋では常日頃

最近の関東地区は閑散時期であるが、繁忙時期は職人不足、夏季生産性低下に対応して、工期遵守のためのいろいろな工法、工夫を採用して来た。聞くところによると工業化の一つに、スラブ配筋のロールマット工法では現場技能工が約50%軽減できるが、コストも組み立て経費の約2倍掛かるそう。現場監督サイドは工期の不安解消のためにこの工法を採用したい、鉄筋業者サイドは職人が余ってきているので在来工法でやりたい！

前回も記したが、年間を通して工事の標準化を推進すること。生産性向上の一環として構造設計段階からD10mmではなくD13mmを採用すること。特に各ゼネコンの自社設計建物では我々の意見が採用される可能性もあり、生産性向上のための策は元下協力の力に合わせてお願いしていきたい。

そして何よりも、我々自身が無意味に価格を下げるのではないよう努めたい。

男女平等、女性活躍が唱えられている中、私が思う「平等」や「女性活躍」とは女性が男性と同じだけの仕事量をすることや、女性の方が適している職場に男性が無理やり入ることではなく、男女共に出来ることの幅を広げることだと思っております。

この鉄筋工事業は男性しか出来ない職種ではありません。体力の差があっても、工夫次第では女性でも働ける職種です。力の差、体力の差があることは当たり前です。そこをお互いが理解し手助けすることが出来て初めて女性が働ける職場になるのではないのでしょうか。女性にしか出来ない出産も周りが理解し協力すること、1人で育てるワンオペと言われることが無くなると思います。男女の特性や性別による差別ではなく理解を図ること、思いやることが「平等」へと繋がると思っています。女性活躍推進委員会としても今後、更なる情報発信に向けて頑張っていきたいと思っています。

編集後記

男女平等、女性活躍が唱えられている中、私が思う「平等」や「女性活躍」とは女性が男性と同じだけの仕事量をすることや、女性の方が適している職場に男性が無理やり入ることではなく、男女共に出来ることの幅を広げることだと思っております。

この鉄筋工事業は男性しか出来ない職種ではありません。体力の差があっても、工夫次第では女性でも働ける職種です。力の差、体力の差があることは当たり前です。そこをお互いが理解し手助けすることが出来て初めて女性が働ける職場になるのではないのでしょうか。女性にしか出来ない出産も周りが理解し協力すること、1人で育てるワンオペと言われることが無くなると思います。男女の特性や性別による差別ではなく理解を図ること、思いやることが「平等」へと繋がると思っています。女性活躍推進委員会としても今後、更なる情報発信に向けて頑張っていきたいと思っています。

宮本ゆり子

編集委員

委員長 知念 辰昇 (鉄工協)
副委員長 宮本ゆり子 (山口)

木浪 裕子 (北海道)
工藤 桂一 (神奈川)
田浦 真一 (関西)
兼澤 伸至 (広島)
松本 勝 (静岡)